



株主懇談会

ラックホールディングス株式会社

2009年6月23日



JASDAQ(証券コード: 3857)

<http://www.lachd.co.jp/>

目次

1. 会社概要

2. 企業理念/ビジョン

3. 全社戦略

4. 経営目標

5. 経営施策-2010年3月期-

6. 連結業績予想-2010年3月期-

7. 事業計画-2010年3月期-【全般】

8. 事業計画-2010年3月期-【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

9. 事業計画-2010年3月期-【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

10. 事業計画-2010年3月期-【ディーラー事業】

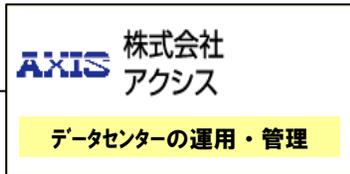
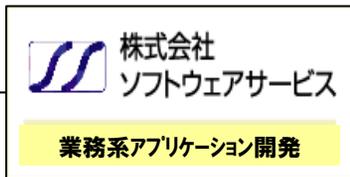
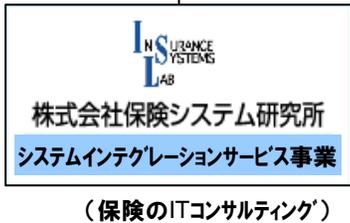
1.会社概要

2009年6月23日現在

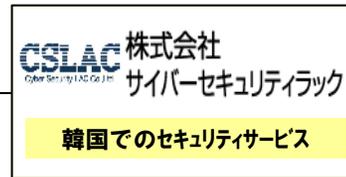
グループ全体図



システムインテグレーションサービス事業 (SIS)



セキュリティソリューションサービス事業 (SSS)



ディーラー事業



1.会社概要

沿革

2002 .4
■A&I: (株) アクシス (AXIS) 子会社化

2006 .1
■A&I: (株) 保険システム研究所 (ISL) 子会社化

2006 .12
■A&I: (株) ソフトウェアサービス (SS) 子会社化

2007.10

LAC、A&I経営統合
ラックホールディングス(株)(LACHD)設立

2008 .4
■ISL子会社化

2008 .7
■子会社 (株) アイティクルー (ITC) 設立
ディーラー事業承継

1987 .5

■エー・アンド・アイシステム(株) (A&I) 設立

1986 .9

■(株)ラック(LAC)設立

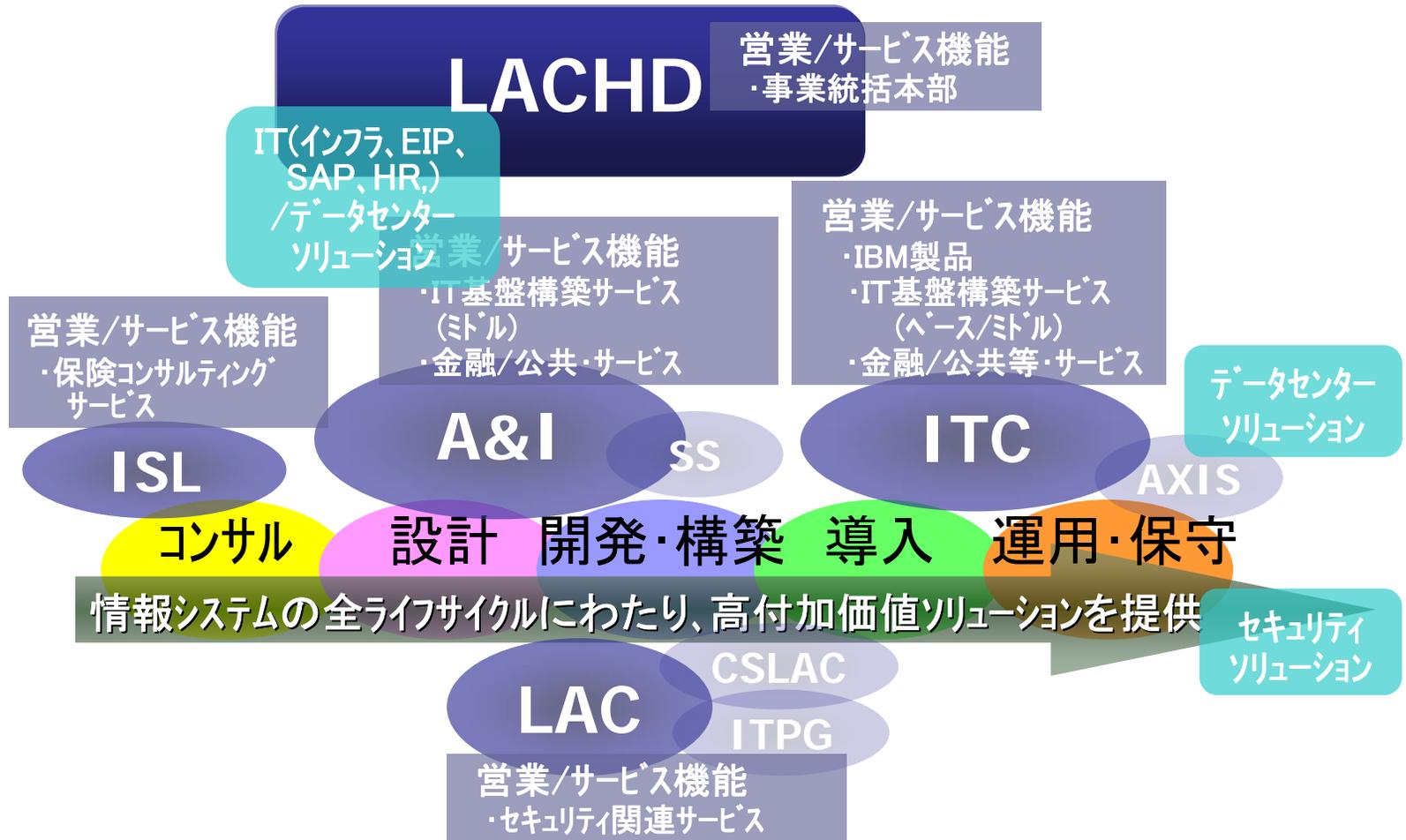
2009 .5

■LAC: (株)ITプロフェッショナル・グループ (ITPG)
子会社化

2008 .7

■LAC:子会社Cyber Security LAC Co., Ltd.
(CSLAC)設立

1.会社概要



1.会社概要



会社概要

商号	ラックホールディングス株式会社
英文名	LAC Holdings, Inc.
事業内容	傘下子会社およびグループの経営管理ならびにそれに付帯する業務を行う
本店所在地	東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター11階
売上	連結 32,538百万円 個別 2,196百万円（2009年3月期）
社員数	連結 1,676名 個別 90名（2009年6月1日現在）
資本金の額	10億円
発行済株式数	26,683,120株
単元株式数	100株
事業年度の末日	3月31日
上場取引所	ジャスダック証券取引所

1. 会社概要



役員

2009年6月23日現在

代表取締役 会長 兼 社長

三柴 元

取締役

岡 良貴 [経営戦略室、ITC、ISL 管掌]

取締役

牧野 敏夫 [社長室、A&I 管掌]

取締役

白石 通紀 [業務変革室、管理本部、LAC 管掌]

社外取締役

中内 重郎

常勤監査役

畑 康德

社外監査役

酒井 富雄

社外監査役

網野 猛美

執行役員

執行役員

齋藤 理 [LAC代表取締役社長]

執行役員

米田 光伸 [ITC代表取締役社長]

執行役員

高梨 輝彦 [A&I代表取締役社長]

執行役員

平林 雄三 [ISL代表取締役社長]

執行役員

怒和 秀昭 [事業統括本部長]

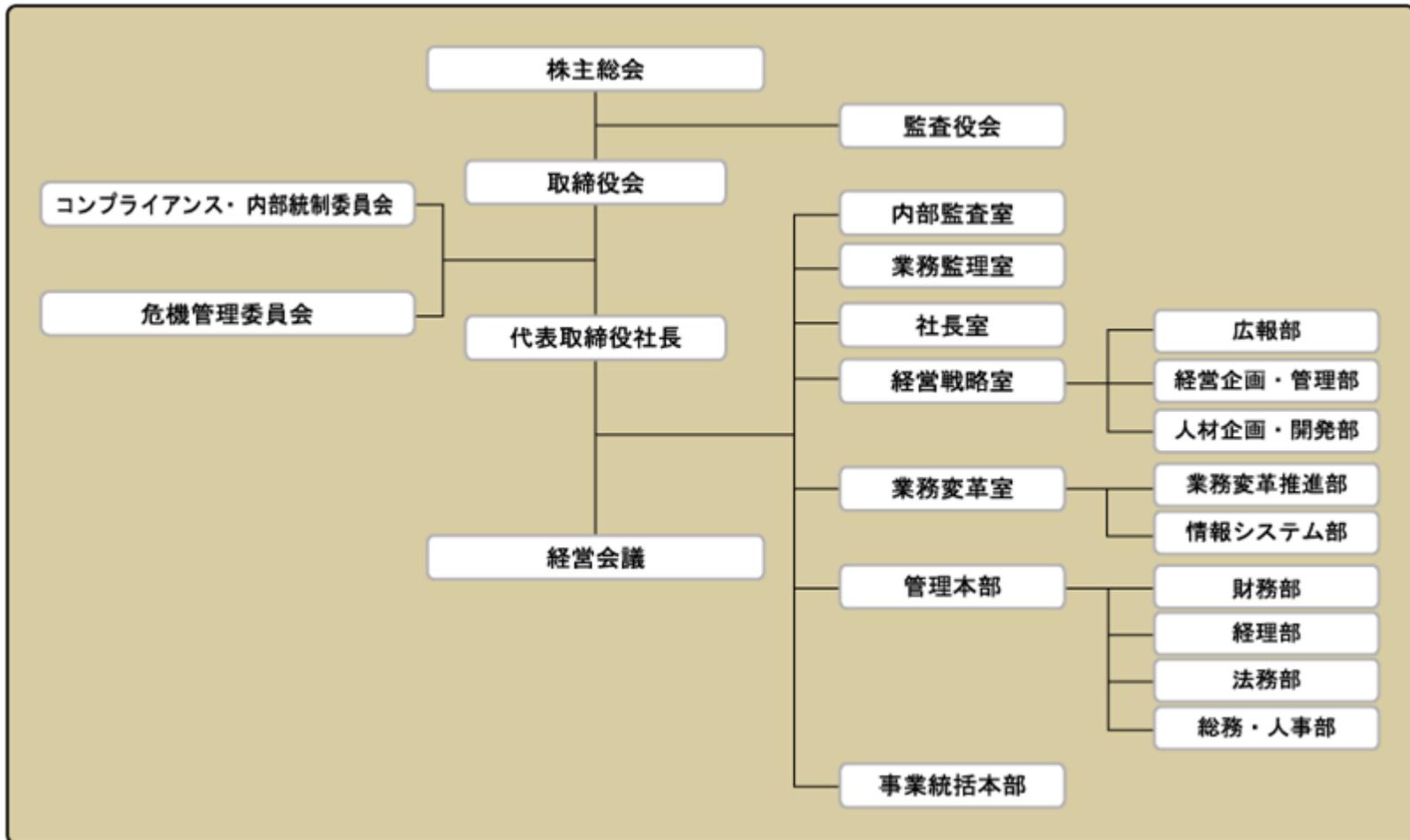
執行役員

伊藤 信博 [管理本部長]

1.会社概要

組織図

2009年6月23日現在



2. 企業理念/ビジョン

企業理念

進化し続けることで成長し、持続可能性の高い経営により、社会にとってなくてはならない存在を目指します

人材の多様性を尊重し、
個々の能力を最大に
生かせるよう努力します

お客様・株主・社員の
尊厳を尊重します

独自文化の創造発信に
より、美しく豊かな
人間社会に貢献します

人間

環境

地球環境に責任を持つ
企業であり続けます

社会

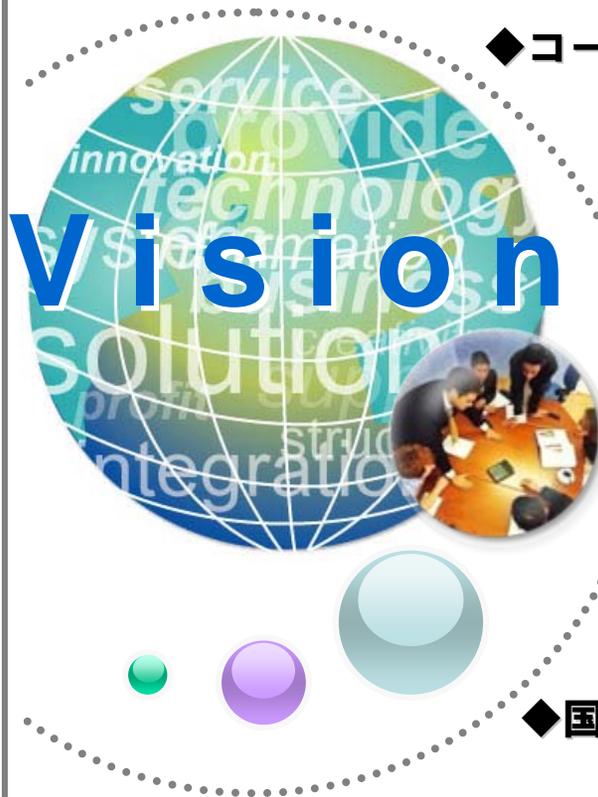
市場

技術と経営の革新こそ
成長の原動力と受けとめ
努力します

継続的な株主配分を
実現する経営を行います

2. 企業理念/ビジョン

高度な情報技術によるサービスを提供する 社会インフラを支える企業



- ◆コーポレートガバナンスの充実とコンプライアンス重視の経営
- ◆お客様中心の視点でより価値のあるソリューションを提供
- ◆高度な情報技術による先進性の追求
- ◆社員がいきいきと楽しく働く企業
- ◆健全な成長を持続する企業
- ◆国際企業への飛躍

3. 全社戦略

Vision

高度な情報技術によるサービスを提供する
社会インフラを支える企業

経営基盤
の強化



規模の拡大と
ポートフォリオ
の強化



付加価値と
生産性の向上



人材の育成



グローバル
展開



コーポレートガバナンスとコンプライアンスを踏まえた
継続的なイノベーション活動の推進

4. 経営目標

経営の基本方針：継続的な成長と安定的な収益確保

- ◆売上高伸長率 : 10 %以上
- ◆ROE（自己資本当期純利益率） : 20 %以上
- ◆ROA（総資産経常利益率） : 10 %以上
- ◆DOE（純資産配当率） : 5 %

配当の方針

- ・長期的かつ継続的な配当水準を維持
- ・年2回の配当
- ・利益の変化や業績に左右されない安定的な配当

5.経営施策-2010年3月期-



経営基盤の強化

- 業務の合理化によるコスト低減など、効率的経営の推進
- 多角的な資金調達により財務基盤の強化

ホールディングス内に
事業統括本部
を新設

ポートフォリオの強化

- 各事業領域への経営資源配分の最適化
- グループ総合力によるお客様との関係維持強化ならびにお客様の開拓

付加価値と生産性の向上

- お客様のIT予算の最適化に向けた提案活動の推進
- プロジェクト管理における品質管理体制の強化

ホールディングス内に
事業統括本部
を新設

グローバル展開

- Wistron ITSとの事業提携によるグローバルリソースの有効活用
- 中国における海外進出現地法人向けサービスの展開
- 韓国現地法人（CSLAC）による情報セキュリティビジネスの推進

人材の育成

- 人材の多様性と自己啓発意欲を尊重した教育の実施
- 次代に合った技術力、経営力および人間力の強化

全社員に
業績連動型
報酬制度を拡充

6. 連結業績予想-2010年3月期-

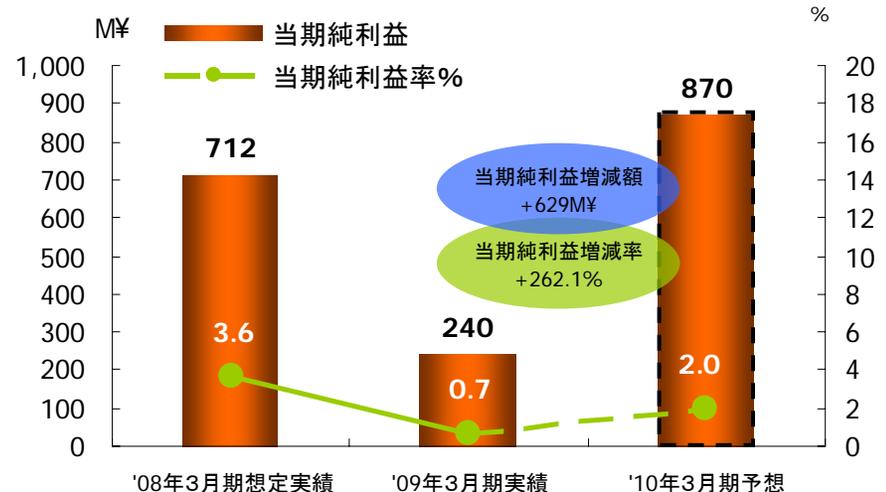
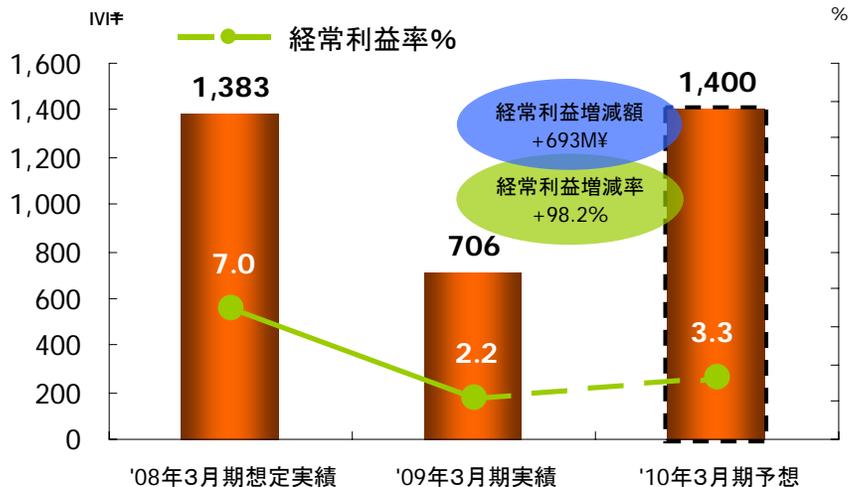
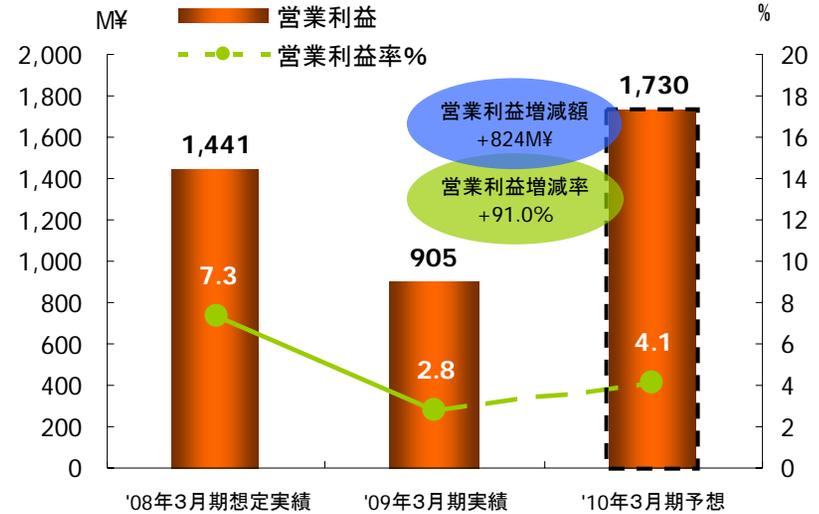
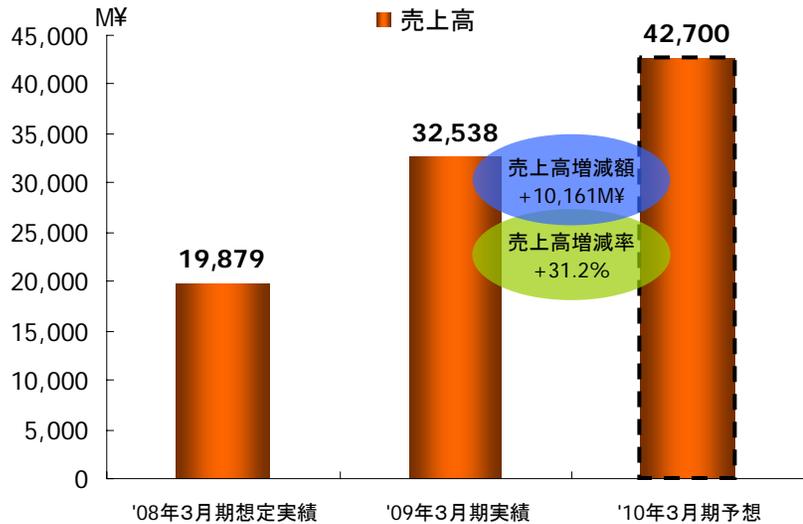


(百万円)

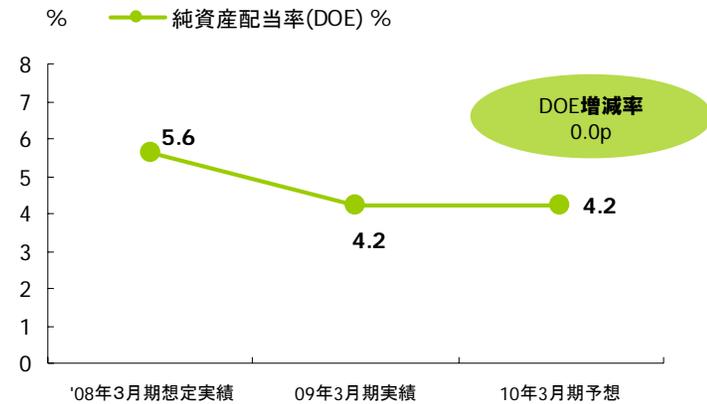
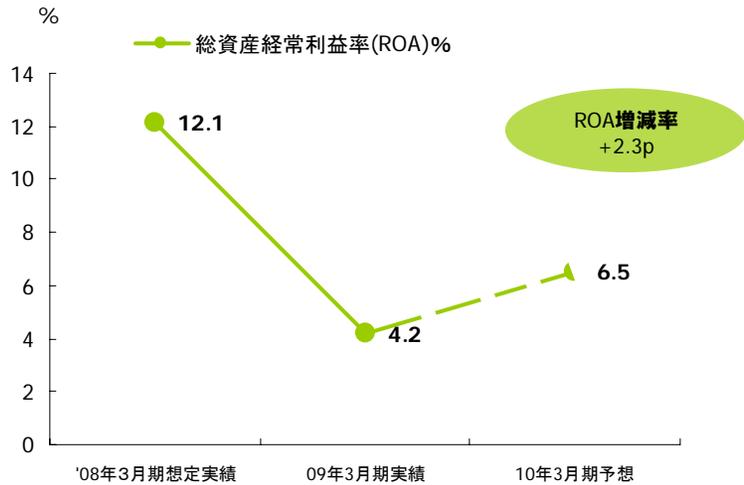
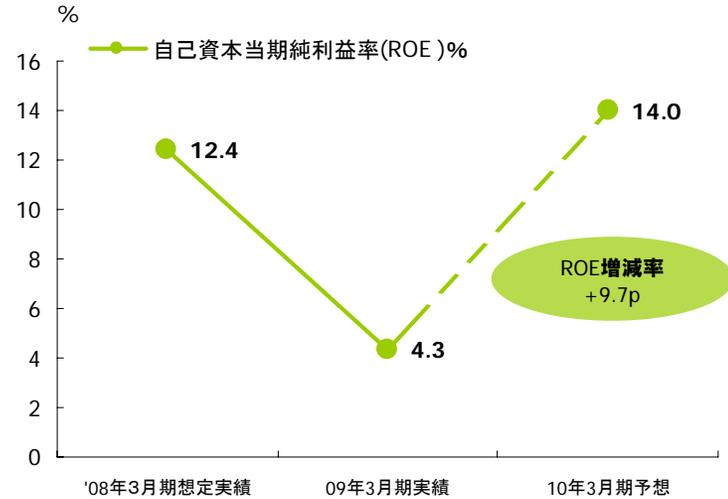
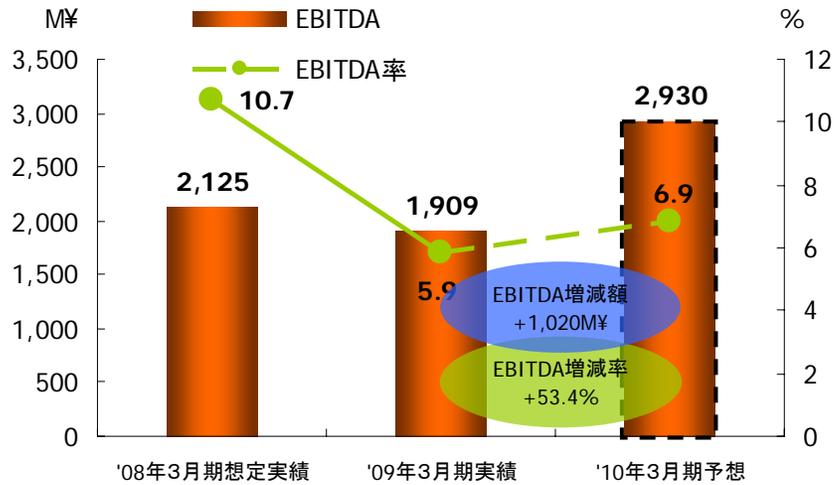
	'08年3月期	'09年3月期		'10年3月期	
	想定実績	実績	前期比%	予想	前期比%
売上高	19,879	32,538	+63.7	42,700	+31.2
営業利益	1,441	905	△37.2	1,730	+91.0
営業利益率%	7.3	2.8	△4.5p	4.1	+1.3p
経常利益	1,383	706	△48.9	1,400	+98.2
当期純利益	712	240	△66.3	870	+262.1
EBITDA	2,125	1,909	△10.2	2,930	+53.4
自己資本当期純利益率(ROE) %	12.4	4.3	△8.1p	14.0	+9.7p
総資産経常利益率(ROA) %	12.1	4.2	△7.9p	6.5	+2.3p
一株当たり当期純利益(EPS)	26円22銭	9円12銭	△65.2	33円5銭	+262.4
一株当たりキャッシュフロー(CFPS)	51円38銭	47円21銭	△8.1	78円10銭	+65.4
一株当たり純資産(BPS)	215円71銭	210円46銭	△2.4	237円17銭	+12.7
一株当たり配当金	6円	9円	+50.0	10円	+11.1
純資産配当率(DOE) % *	5.6	4.2	△1.4p	4.2	0.0p
配当性向 % *	45.8	98.7	+52.9p	30.3	△68.4p

* '08年3月期のDOE・配当性向は、'07年10月1日の経営統合後の6ヶ月間に対する期末配当(6円)を一年換算した数値で計算しております。

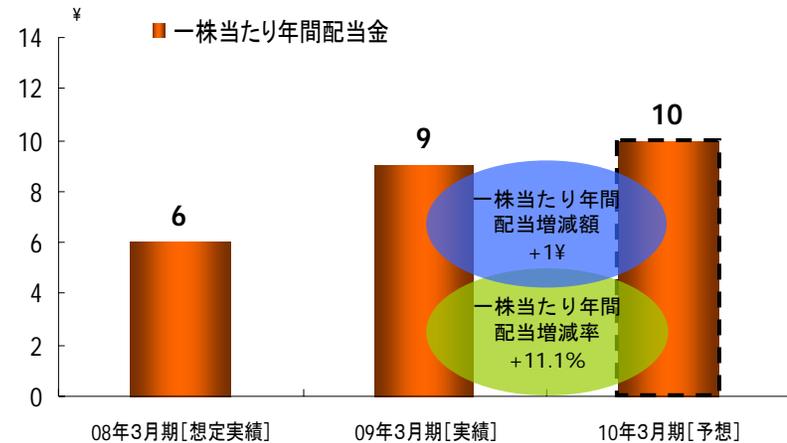
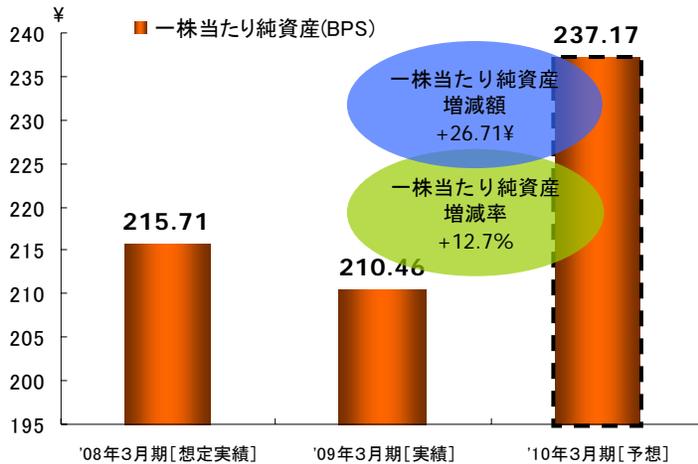
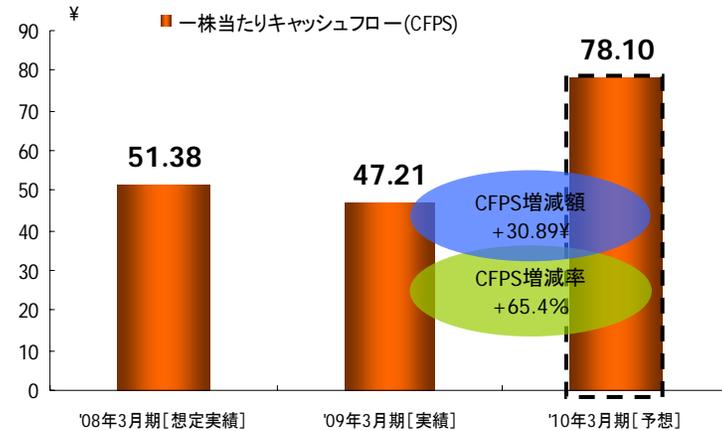
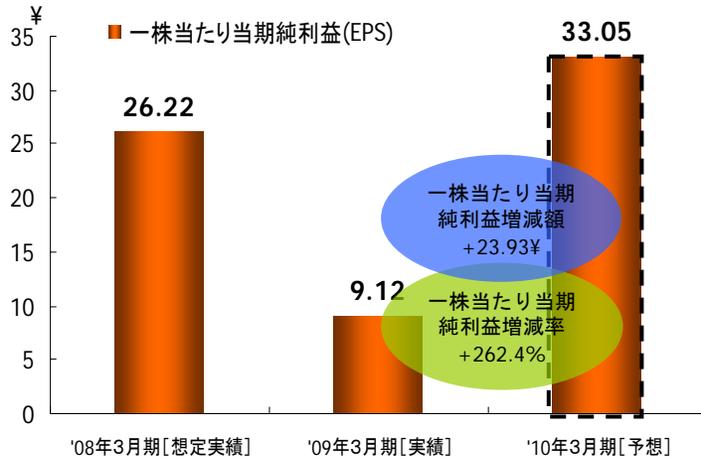
6. 連結業績予想-2010年3月期-



6. 連結業績予想-2010年3月期-



6. 連結業績予想-2010年3月期-



7.事業計画- 2010年3月期-【全般】



市場と事業環境の認識

- 金融・製造業において厳しい環境が続く上に、新型インフルエンザによる影響が旅行業などにも出始め、全体としてIT投資抑制が続くことが予想される。
- 法規制対応、企業統合などの必然性の高い需要は継続し潜在している。
- 常駐型の開発サービスは堅調に推移するなかで、次の成長に向けたソリューションを準備する段階である。

- 情報セキュリティ市場としては、中堅・中小企業へのビジネス拡大が期待される。
- 企業のソフトウェア投資が減少するなかで、情報セキュリティにおいては、SaaSモデルなどの浸透により各種サービスが順調に推移すると予測する。

- 証券業で減少幅が回復するもの、全体として設備投資額が減少する。
- 保守サービスの維持により収益基盤を安定させるとともに、大型案件の獲得と非金融業におけるサービスの展開に向けた仕込みの段階である。

システムインテグレーションサービス

SIS
事業

- 開発サービス
- ソリューションサービス
- 関連商品

セキュリティソリューションサービス

SSS
事業

- コンサルティングサービス
- 構築サービス
- 運用監視サービス
- 関連商品

ディーラー
事業

- ハードウェア／ソフトウェア販売
- SEサービス
- 保守サービス

7.事業計画- 2010年3月期-【全般】



(百万円)

売上高	'09年3月期			'10年3月期	
	予想['08年8月開示]	実績	予想比%	予想	前期比%
システムインテグレーションサービス (SIS)事業	16,000	14,032	△12.3	13,145	△6.3
開発サービス	13,634	12,831	△5.9	12,395	△3.4
ソリューションサービス	981	415	△57.6	401	△3.5
関連商品	1,385	785	△43.3	348	△55.6
セキュリティソリューションサービス (SSS)事業	6,000	4,983	△16.9	5,055	+1.4
コンサルティングサービス	1,630	1,406	△13.7	1,390	△1.2
構築サービス	370	129	△64.9	170	+31.8
運用監視サービス	2,550	2,222	△12.8	2,605	+17.2
関連商品	1,450	1,224	△15.6	890	△27.3
ディーラー事業	18,500	13,522	△26.9	24,500	+81.2
HW/SW販売	11,200	7,275	△35.0	14,500	+99.3
SEサービス	2,500	1,884	△24.6	3,000	+59.2
保守サービス	4,800	4,362	△9.1	7,000	+60.5
合計	40,500	32,538	△19.7	42,700	+31.2

7.事業計画- 2010年3月期-【全般】



(百万円)

営業利益	'09年3月期			'10年3月期	
	予想 ['08年8月開示]	実績	予想比%	予想	前期比%
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	2,133	1,173	△45.0	1,575	+34.2
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	950	659	△30.6	812	+23.1
ディーラー事業	△160	230	—	842	+266.1
消去又は全社	△1,223	△1,157	—	△1,499	—
連結	1,700	905	△46.7	1,730	+91.0

EBITDA	'09年3月期			'10年3月期	
	予想 ['08年8月開示]	実績	予想比%	予想	前期比%
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	2,526	1,557	△38.4	1,979	+27.1
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	1,090	758	△30.4	929	+22.6
ディーラー事業	274	613	+123.7	1,414	+130.7
消去又は全社	△1,252	△1,019	—	△1,392	—
連結	2,638	1,909	△27.6	2,930	+53.5

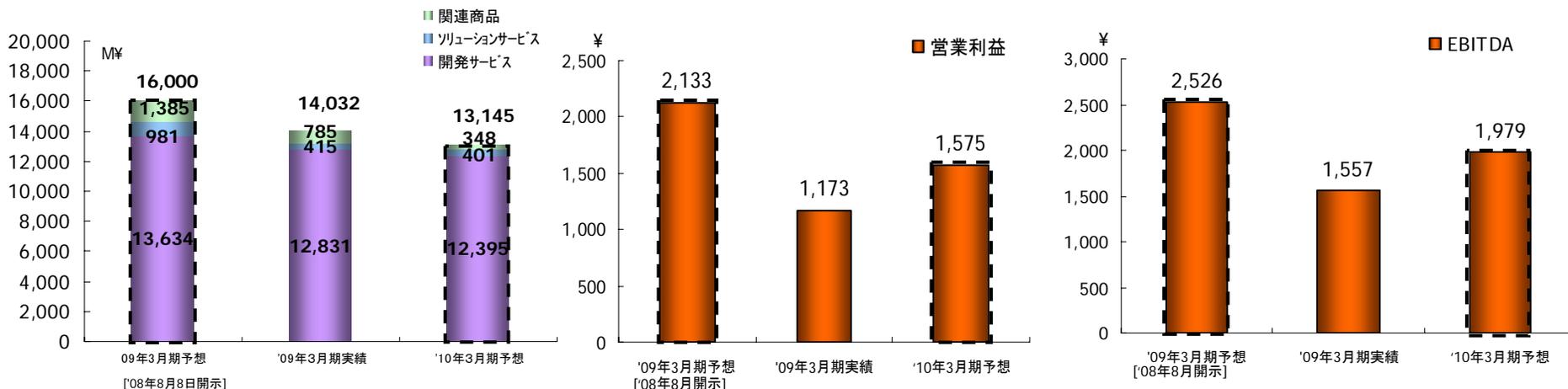
8. 事業計画- 2010年3月期- 【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】



(百万円)

システムインテグレーションサービス (SIS)事業	'09年3月期			'10年3月期	
	予想 ['08年8月開示]	実績	予想比%	予想	前期比%
開発サービス	13,634	12,831	△5.9	12,395	△3.4
ソリューションサービス	981	415	△57.6	401	△3.5
関連商品	1,385	785	△43.3	348	△55.6
売上高	16,000	14,032	△12.3	13,145	△6.3
営業利益 *	2,133	1,173	△45.0	1,575	+34.2
EBITDA *	2,526	1,557	△38.4	1,979	+27.1

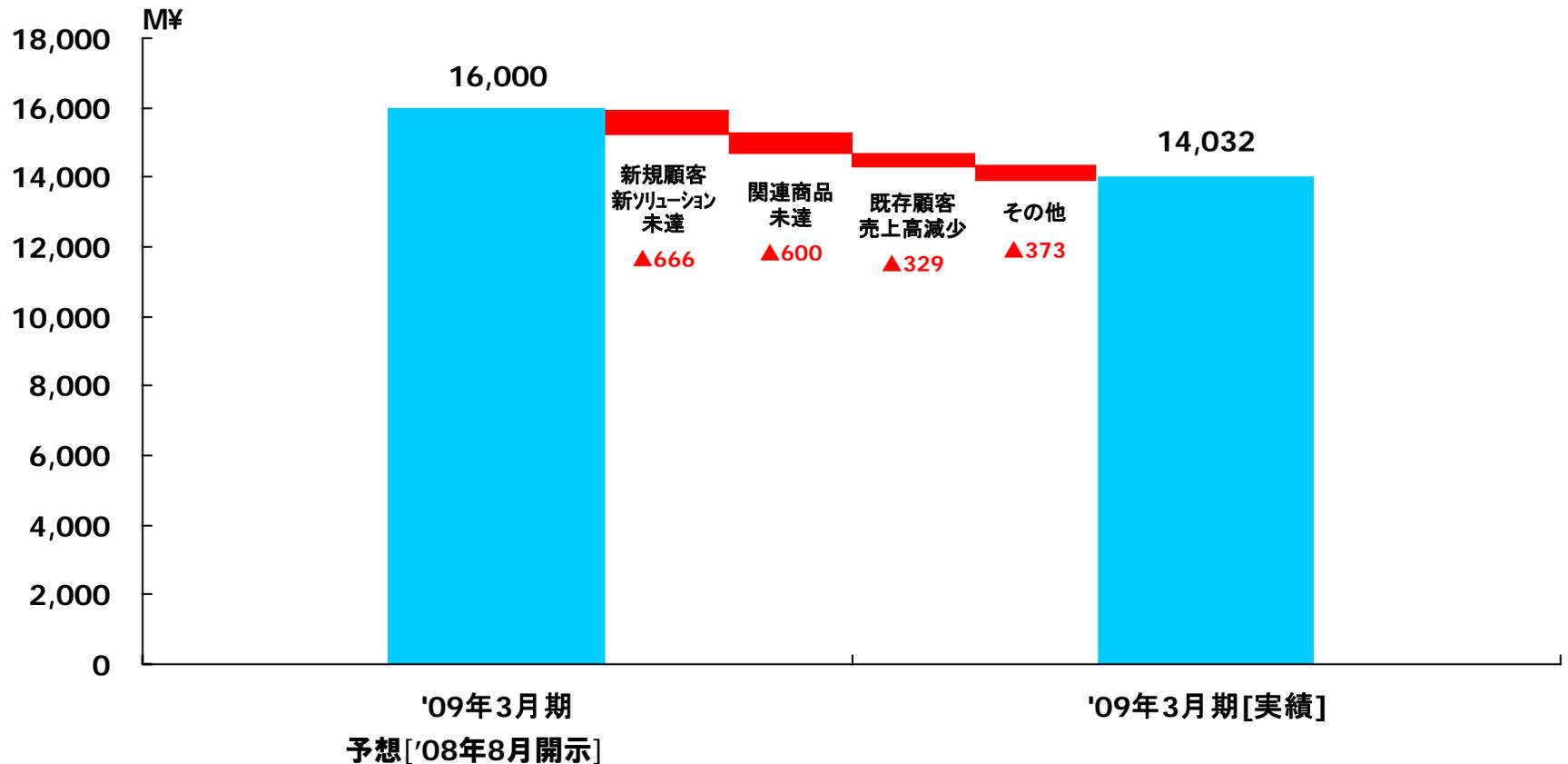
* 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益



8.事業計画- 2010年3月期- 【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

予実差異: [売上高]

▲1,968百万円の主因

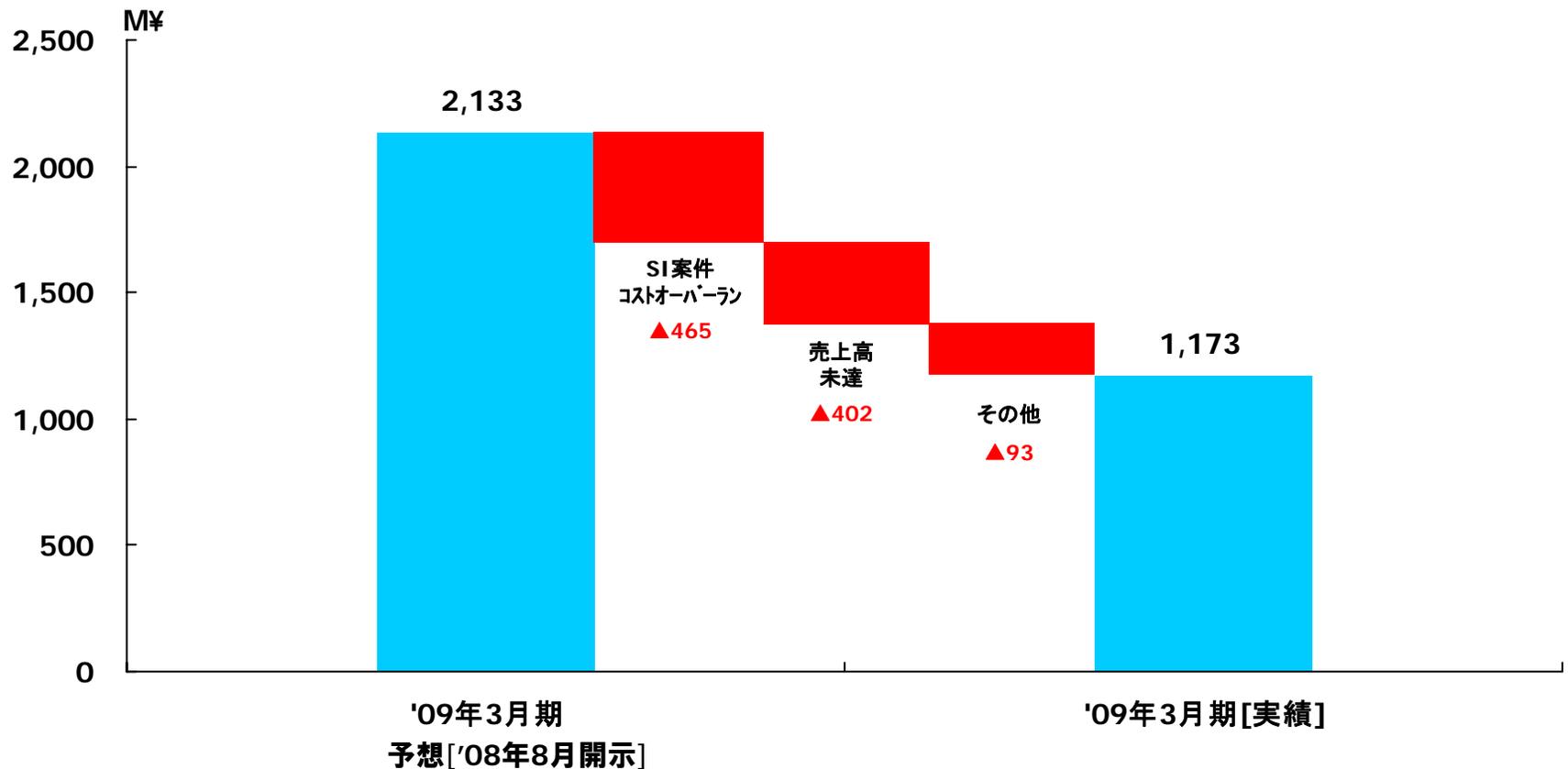


8.事業計画- 2010年3月期-

【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

予実差異: [営業利益]

▲960百万円の主因



8.事業計画- 2010年3月期-

【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】



重点施策

1. 営業強化と新規のお客様の開拓
 - アカウントマネージャーを設置し、既存のお客様との関係強化と案件の深耕を推進
 - グループ総合力を活かした営業展開による主要なお客様との関係維持強化ならびに新規のお客様の開拓
2. 問題プロジェクト防止の対策と早期発見のための体制強化
 - 高度なプロジェクト管理スキルを備えた人材の育成
 - プロジェクト管理の問題点を早期に発見するための検定など、品質管理体制の強化
3. 付加価値の高いビジネスモデルの推進
 - ソリューション展開部門を設置、各種ソリューション（システム可視化、Lotus Notes等）の推進
 - ソリューションパートナーとの協業による時流に合ったソリューションの提供
4. 業種特化による業務知識の活用
 - カード業界における新規案件の獲得
 - 保険業務に特化したコンサルティングサービスの強化とSIビジネスへの継続展開
5. グローバルコストへの対応
 - 海外リソースの調達と活用



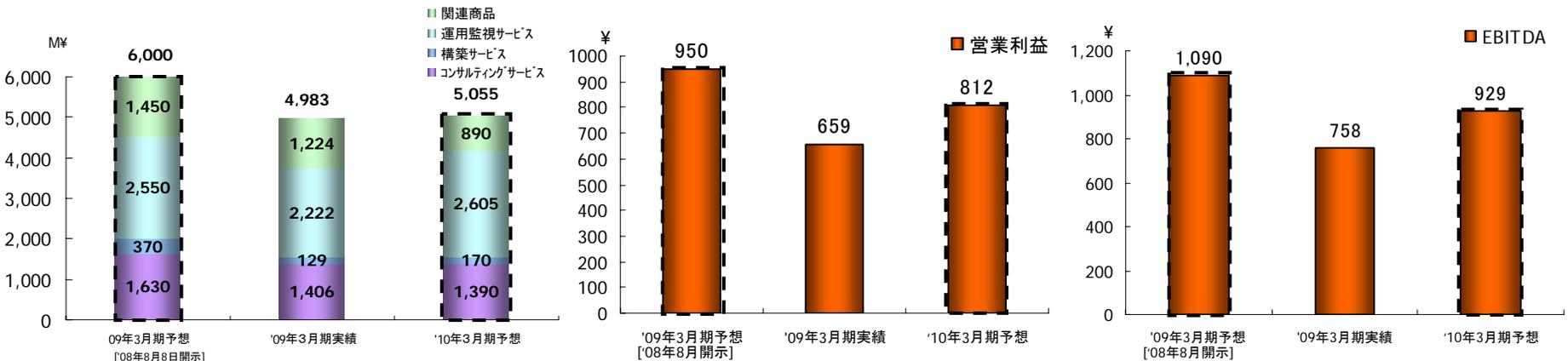
9.事業計画- 2010年3月期-

【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

(百万円)

セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	'09年3月期			'10年3月期	
	予想 ['08年8月開示]	実績	予想比%	予想	前期比%
コンサルティングサービス	1,630	1,406	△13.7	1,390	△1.2
構築サービス	370	129	△64.9	170	+31.8
運用監視サービス	2,550	2,222	△12.8	2,605	+17.2
関連商品	1,450	1,224	△15.6	890	△27.3
売上高	6,000	4,983	△16.9	5,055	+1.4
営業利益 *	950	659	△30.6	812	+23.1
EBITDA *	1,090	758	△30.4	929	+22.6

* 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益

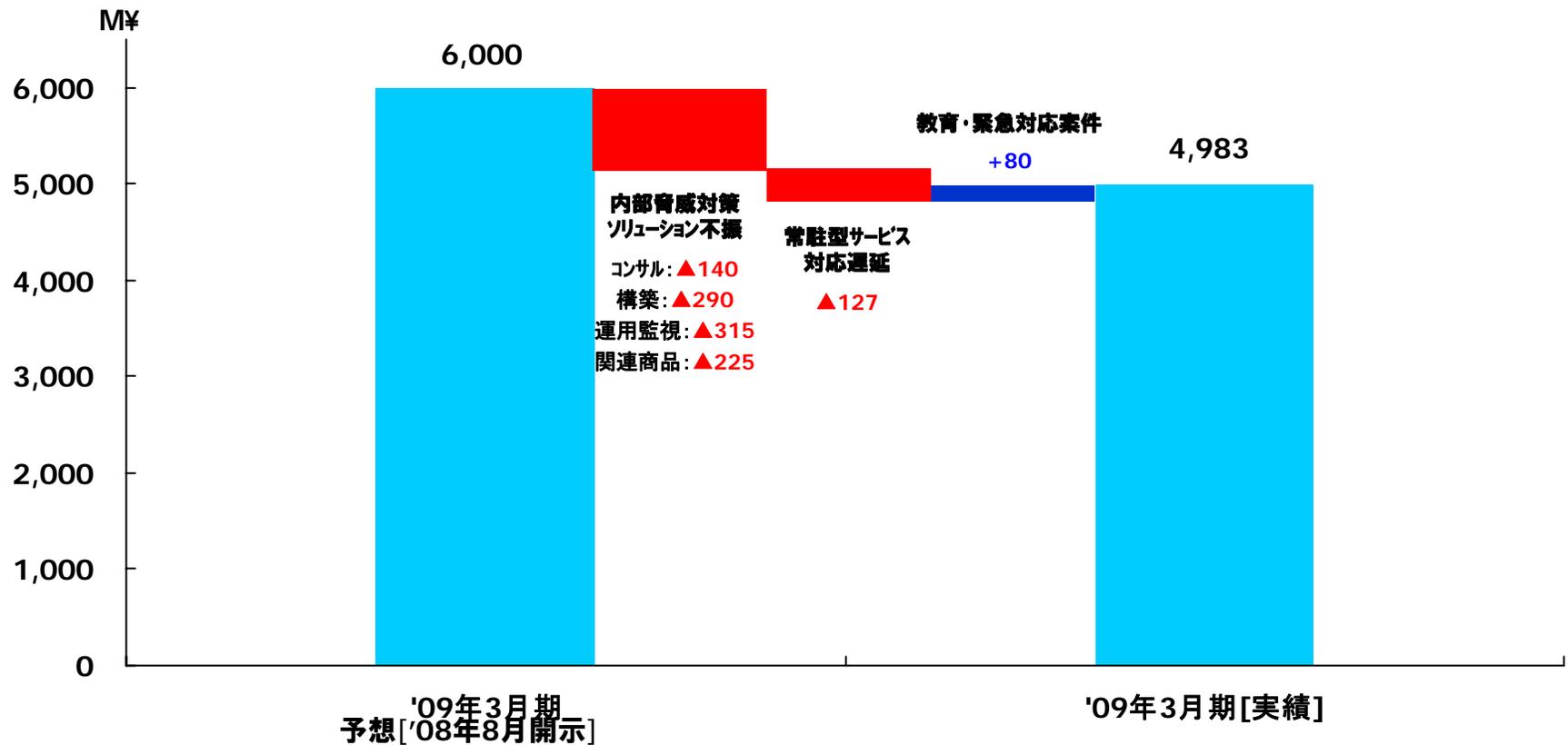


9.事業計画- 2010年3月期- 【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】



予実差異: [売上高]

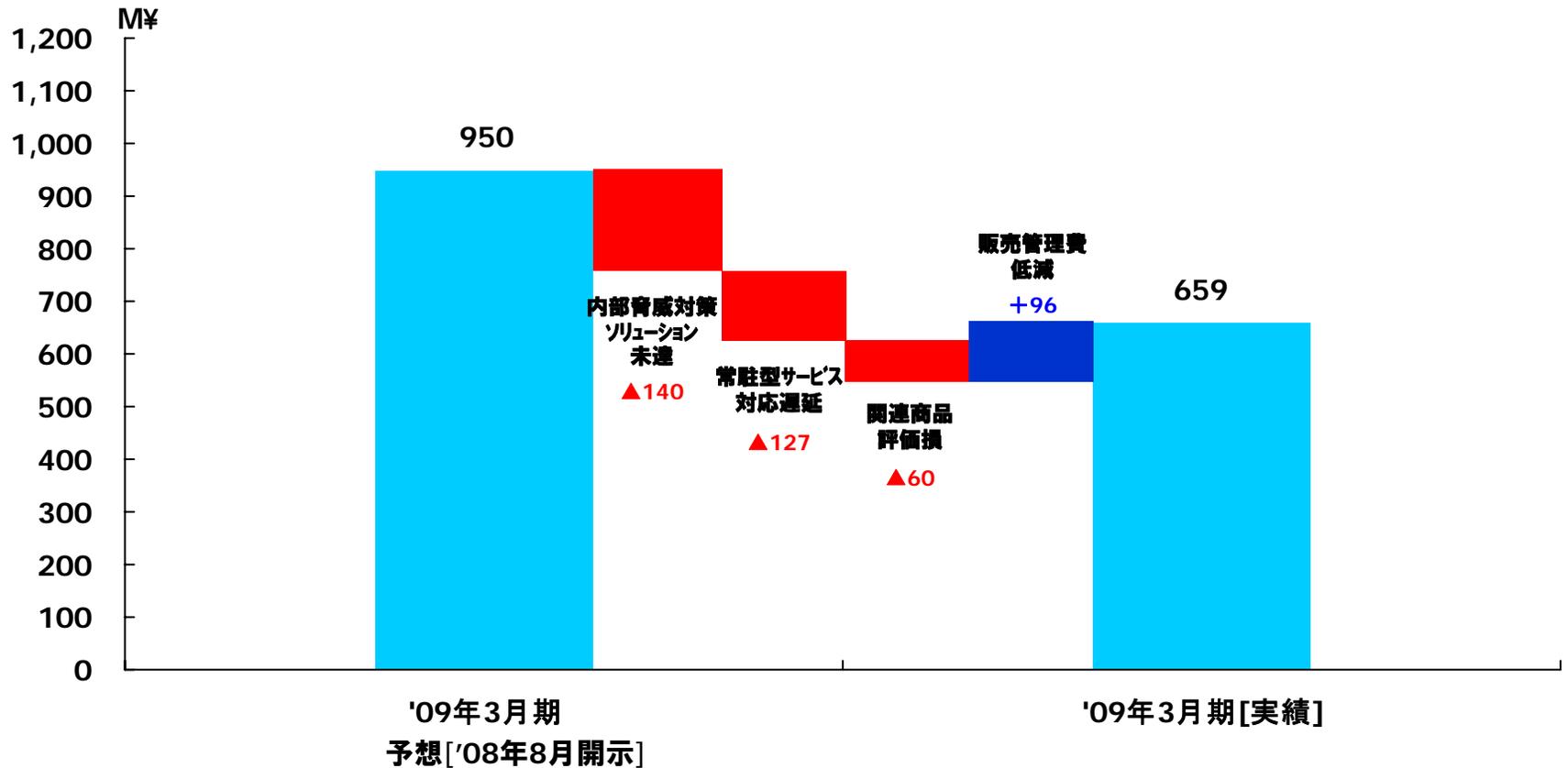
▲1,017百万円の主因



9.事業計画- 2010年3月期- 【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

予実差異: [営業利益]

▲291百万円の主因



9.事業計画- 2010年3月期-

【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

重点施策

1. 利益の確保

- チャレンジ部署と利益確保部署を明確に分離
- チャレンジ部署は少数精鋭による最少人数構成で事業展開
- サイバーリスク総研を事業部と位置づけ、利益確保部署とした

2. 人材育成による付加価値と生産性の向上

- 中堅・若手社員を中心に、エキスパートバンク（SEバンク 180名規模）へ集約した技術組織運営を実施
- 人材育成、キャリアプラン、教育の実施による多能工化を実現し、一人当たりの付加価値を向上

3. KDDI様との事業提携の拡大

- 昨年から本格的な展開を進めているKDDI様との戦略的事業提携をさらに拡大
- クラウド環境とセキュリティ対策、ソリューションの研究、開発、及び展開

4. 事業領域の拡大

- 株式会社ITプロフェショナル・グループを子会社化し、教育事業へ本格参入
- 上海オフィスを設立し、中国を中心として海外進出日本企業向けビジネスの強化
- 海外現地法人（CSLAC）による韓国内の情報セキュリティビジネスの推進

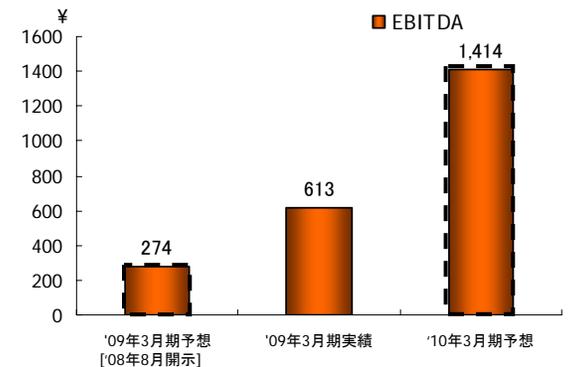
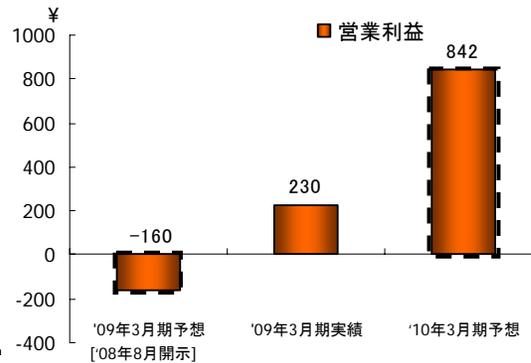
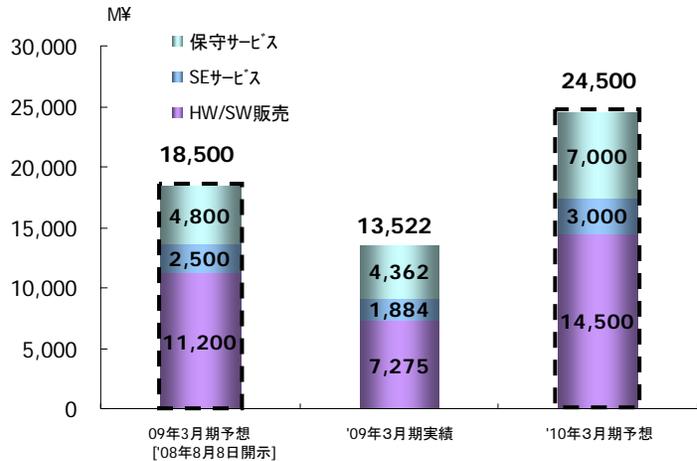


10.事業計画- 2010年3月期- 【ディーラー事業】

(百万円)

ディーラー事業	'09年3月期 (8ヶ月決算)			'10年3月期	
	予想 ['08年8月開示]	実績	予想比%	予想	前期比%
HW/SW販売	11,200	7,275	△35.0	14,500	+99.3
SEサービス	2,500	1,884	△24.6	3,000	+59.2
保守サービス	4,800	4,362	△9.1	7,000	+60.5
売上高	18,500	13,522	△26.9	24,500	+81.2
営業利益 *	△160	230	-	842	+266.0
EBITDA *	274	613	-	1414	+130.7

* 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益

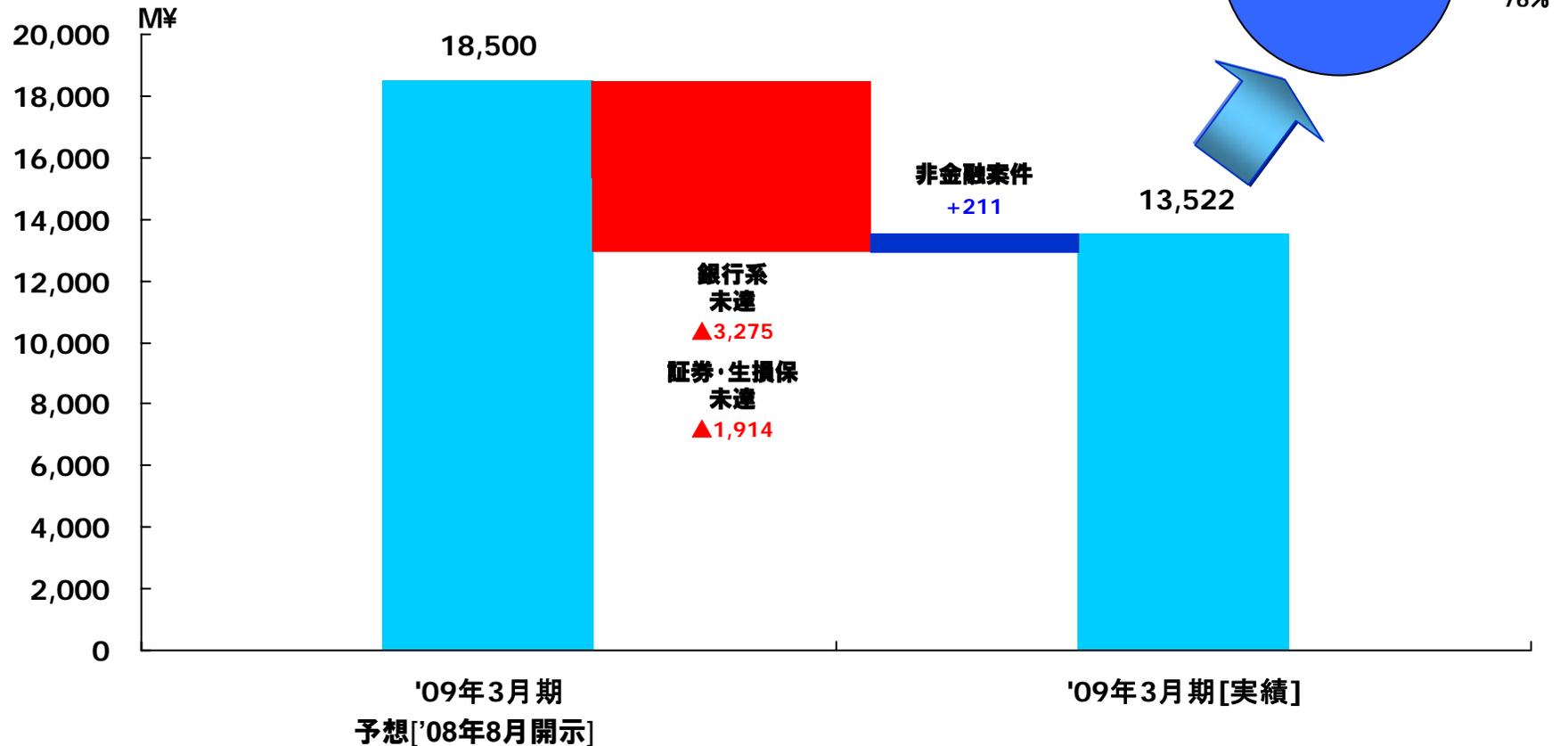


10.事業計画- 2010年3月期- 【ディーラー事業】



予実差異; [売上高]

▲4,978百万円の主因

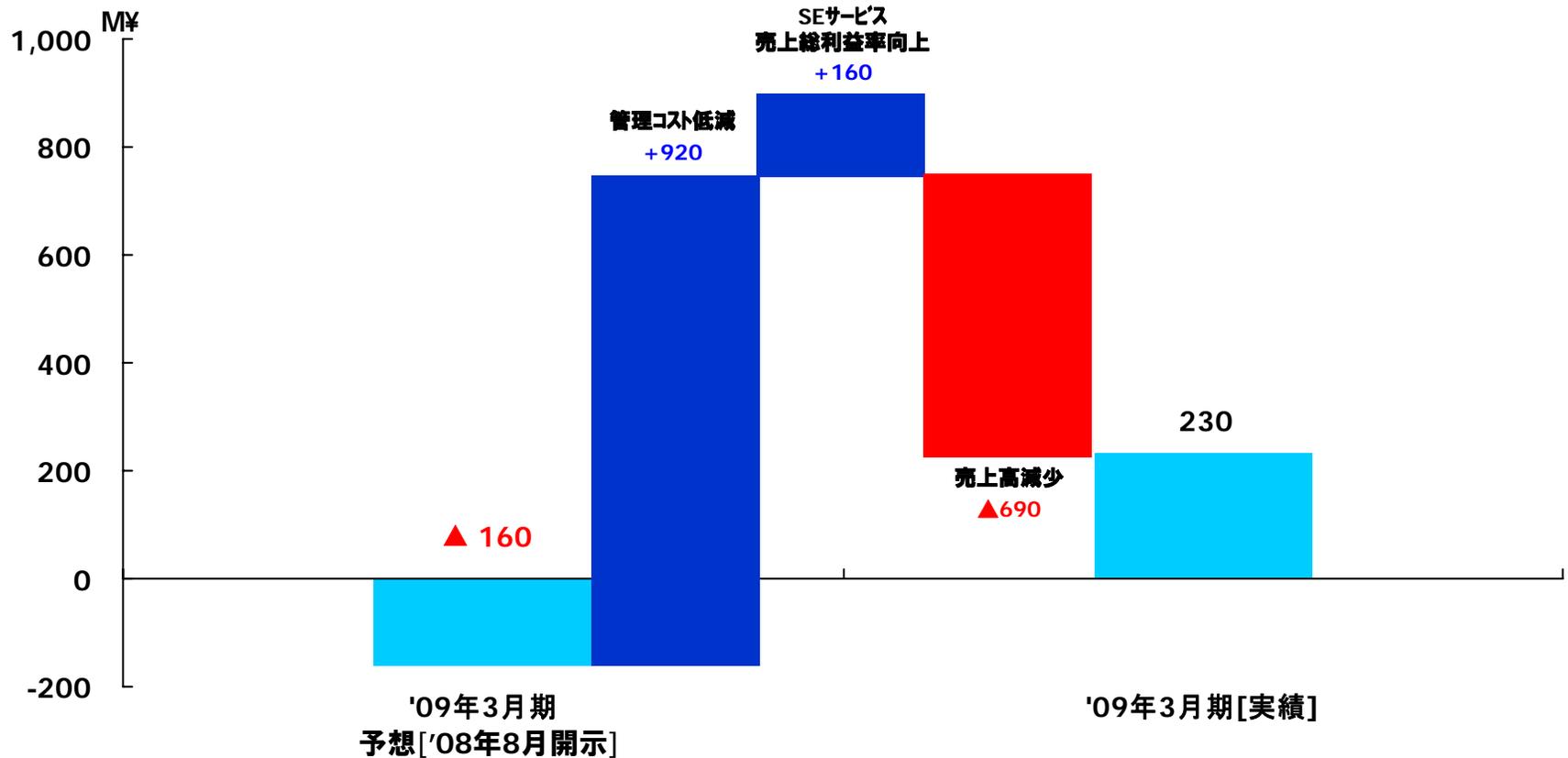


10.事業計画- 2010年3月期-

【ディーラー事業】

予実差異: [営業利益]

+390百万円の主因



10.事業計画- 2010年3月期-

【ディーラー事業】

重点施策

1. 営業力の強化
 - グループ総合力を活かした営業展開による主要なお客様との関係維持強化ならびに新規のお客様の開拓
 - 金融機関を中心とした既存のお客様との信頼関係の維持
2. 安定的なお客様基盤の確立
 - 非金融系業界への積極的展開によるマーケットの拡大
 - 保守サービスの維持と拡大によるストックビジネスの強化
3. 高付加価値サービスメニューの開発
 - 高度な技術力でお客様の期待に応える付加価値の高いサービスの提供





ご清聴ありがとうございました

LAC
LAC Holdings, Inc.